

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ行徳教室			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数)	47
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者さまの多くから、職員のあたたかく丁寧な接し方に信頼を寄せているという声が寄せられました。子どもが落ち着いて通える理由のひとつとして、職員の関わり方が大きな要素になっていると考えられます。	フィードバックを通じて、子どもたちの様子をタイムリーに伝えることを大切にしています。これにより保護者さまの安心感や信頼感が高まっていると感じています。	現在の説明だけでは不十分と感じる保護者さまもおり、支援の目的や方法をより具体的に共有する工夫が必要です。
2	子どもがリラックスできる雰囲気づくりに好意的な意見が見られました。物理的な環境だけでなく、空気感も含めた「安心できる場」としての評価が高いです。	ご意見や要望を受けた際には、職員間で迅速に話し合い、支援内容の調整につなげています。この柔軟な対応が、信頼につながっていると考えています。	保護者さまが支援の全体像を理解しやすくするため、定期的な個別面談やフィードバックの場の充実を検討してまいります。
3	日頃のやり取りを通じて、職員が話しかけやすく、相談しやすい印象を持たれていることが分かりました。保護者さまとの信頼関係がしっかり築けている点は、事業所の大きな強みといえます。	職員一人ひとりが個別の支援に責任を持ちながらも、チームとして情報を共有し、協力して子どもに向き合う体制が整っています。	いただいたご意見を受けてどう変化があったかを「伝える」工程を明確にし、協働感を深めたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特に新しく利用を開始された保護者さまから、「もう少し丁寧に説明してほしい」との声が見受けられました。	忙しい中でも説明の質を保つ体制が必要だと感じています。	面談だけでなく、SMS等他ツールも併せて活用していきながら、支援の意図を分かりやすく伝えていきたいと考えています。
2	意見を伝えた後の対応が見えづらく、「本当に伝わっているのか不安に感じた」という感想がありました。	意見を活かすプロセスについて、職員内では機能していても、それを外に示す部分が弱かったと認識しています。	「こう変わりました」と報告する流れを定着させ、信頼につなげたいと思います。
3	地域とのつながりについての情報提供が少なく、「どんな連携をしているか分からない」という意見が一部にありました。	外部とのつながりがあっても、それを保護者さまに十分に共有できていなかった点が課題です。	保護者さまとの共有を通して、つながりの安心感を感じていただけるよう工夫していきます。